

(第2号様式)

鏡特浦分第 1645 号
令和5年 2月 16 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立鏡が丘特別支援学校浦添分校
校長 上運天 滋
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年6月17日	場所	書面開催	出席 状況	3名
第2回	日時	令和4年12月8日	場所	分校校長室	出席 状況	3名
第3回	日時	令和5年2月16日	場所	書面開催	出席 状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営方針、授業の様子等紹介、学校校便りについて
- ②学校評価、授業紹介
- ③コロナ対策、年間取り組み紹介、教育課程編成紹介

3 学校評議員の意見

- ①・基本理念に学校のキャッチフレーズに示されている「こころの底から湧き出る笑顔のために」学校経営に取り組んでほしい。
 - ・写真の表情からも感覚、感触、刺激運動を楽しんでいるのが見てとれます。
 - ・5感に働きかける生活単元学習について、生徒さん1人1人の反応を引き出しながら学習していく機会が得られていることでとても良いなと思います。
 - ・学齢超過者等、他校にはない気配り、配慮が欠かせないと思います。隣接する療育園と緻密な連携を図り健康を第一に情報発信(保健だより)に取り組んでください。
 - ・感染症対策により、なかなか園と学校との交流が難しくなっているなか、このような広報誌があると分校の雰囲気や園の職員にも伝わりやすく生徒さんとの交流の1助になります。
 - ・赴任される先生方など新しい職員の方を便りを通して拝見できるので新学期でも保護者の方は安心だと思います
 - ・各単元毎に紹介されており、分かりやすいです。
- ②③・コロナ対応は、現在も大変だと思う。今後は、WITHコロナ対応も必要となってくると思うが、地域とのつながりをどうしていくか。校外学習等
 - ・コロナ禍で、できることをやっていくことが必要。以前は、公設市場や首里城へも校外学習を実施した。スクールバスに乗って、初めての生徒は、怖がっていたが、慣れたら喜んでた。体験や経験は生徒にとって大切である。訓練等もカメラを利用し、見ながら反省会を充実することができた。授業紹介で、生徒の笑顔が多くありよかった。
 - ・生徒個々の障害や特徴を理解して下さったうえで季節感を取り入れた活動や様々な刺激を与える事の出来る勉強を行っていることは非常に良い影響を生徒にもたらしていると思います。
 - 先生が迎えにいらしたときの笑顔や学習時の動画などを見させて頂いても学校生活をとても楽しんでいる事を感じています。新型コロナウイルスの状況で学習活動も困難な状況にあるかと存じますが、当園の感染症対策に準じる形での対応をしてくださり感謝申し上げます。園としては、引き続き貴校での感染症対策を継続していただき、お互いの機関で感染症に関する影響が出た場合は早めの情報共有を行っていきたく思いますので、今後ともご協力を宜しくお願い致します。

4 学校運営に反映した事項

- ・学校教育目標達成につながる授業実践、評価、改善の取り組み。
- ・生徒の実態把握と日々の丁寧な健康観察の継続した取り組み。
- ・学齢超過者への人権を尊重した全職員での対応。
- ・コロナ対策により保護者が学校へ入れないので、学校便り(教頭便り)を追加発行年間12回)による情報発信。
- ・次年度教育課程の校外学習実施の検討

5 課題その他

- ・学校教育目標達成につながる授業実践、評価、改善の実施。
- ・生徒の実態把握と日々の丁寧な健康観察の継続した実施。
- ・学齢超過者への人権を尊重した全職員での対応。
- ・学校からの保護者や地域、併設施設等への情報発信。
- ・次年度の校外学習実施。